



赤水がいない博多餃子ラーメン

ル中四国統括本部、キリンビール中四国地区本部、メルシャン中四国支社など中国四国エリアで展開するキリングループ各社は4日、グループの22年

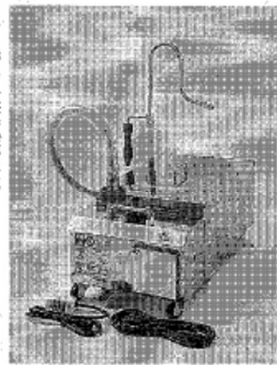
「博多」の展開拡大が伸びている。中四国統括本部、キリンビール中四国地区本部、メルシャン中四国支社など中国四国エリアで展開するキリングループ各社は4日、グループの22年



販売目標などを発表し、販売部長は21年度の振り返りで、酒税法改正によるビール回帰や消費者の健康に対する意識の高まりなどの市場環境を背景に、ビールの販売数量が6年ぶりに前年実績を上回ったことやフラッグシ

# SDGs 取り組む企業へ進化

ASPiA(アスピア)の「ECOSAS油ろ過機」が発売以来累計4000台を突破するなど急速に導入企業・店舗が増加している。その理由は、油代の大削減、食用油の高騰という外的要因はもちろんのこと、作業者



ECOSAS 油ろ過機

「ECOSAS油ろ過機」は、高温の油をそのままろ過させることで、フライヤー・槽内の油質からろ過できる。フライヤーは火傷の危険があり、清掃も大変だが、従業員が嫌う。また、ろ過機なら従来30〜40分かかっていた油揚げ作業が2

高く維持される。発売時は1ヵ月1斗缶13缶使用が導入メ리트の基準だったが、現在は1斗缶の未端価格は5000円超と当時の倍となり、半分の使用量でも約3割のコストダウンが可能だ。油代・作業効率・安全性と一石三鳥。だが、その性能がすぐに認知されたわけではない。数社に提案し、興味を

△を経て完成後、わずか3日間で導入を完了する。そのスピードは、開発段階で田内フラインヤーメーカーの全機種に対応でき、宅急便で配達できるコンパクトサイズを考慮していったためだ。そのコンパクトサイズはフラインヤーでも、現地に作業に行かなくても、宅急便対応の部品交換で済むという利便性の高さにもつながっている。

## 導入台数4000台にECOSAS油ろ過機

ASPiA(アスピア)の「ECOSAS油ろ過機」が発売以来累計4000台を突破するなど急速に導入企業・店舗が増加している。その理由は、油代の大削減、食用油の高騰という外的要因は



ASPiA 笹原 憲久社長

ASPiAは笹原憲久社長が笹原商事として創業。21年に現社名へと改名。鹿児島県本荘から東京

本社の2本社体制にして創設。1年目の売り上げは1億5000万円だった。前回は10億円を突破した。急拡大しているのは笹原社長の「現場主義」に徹底した開発姿勢だ。厨房に入り込む、作業の手伝いをしながら現場点・改善点を見つけ出す。スプレータイプに製品化した。一畑まれた。普に役立つ。

らできませんとは言わず、取り組む。ただし、自分で決めた20項目ほどをチェックリストをすべて埋められたら、これが当社の製品開発ルール」だ。田内社長は当時を振り返ると「臭い・酸化値まっすぐとかがネックをのいた」と

持った大手持ち帰り弁当チェーンの十数店舗で実証実験を行った。「その間、半年ほどは売上げが無く、苦労した。商社時代の入店に助けられ、何は毎日の清掃が必要だ。後片付けが大変だ。それを一度、所要時間わずか3分に改善できる。仕

また現在、急速にニーズが高まっているのは「ECOSASケリスト」だ。業務用厨房に義務付けられているケリストラップは、臭気がつく汚し、後片付けが大変だ。それを一度、所要時間わずか3分に改善できる。仕

今回、食品業界向けの商品に絞ったが、東京医科大学・富橋大学と産学連携で開発した、新型コロナウィルス不活化効果・抗菌効果のある「ECOSAS銀イオン水」開発など、活躍フィールドを広げている。